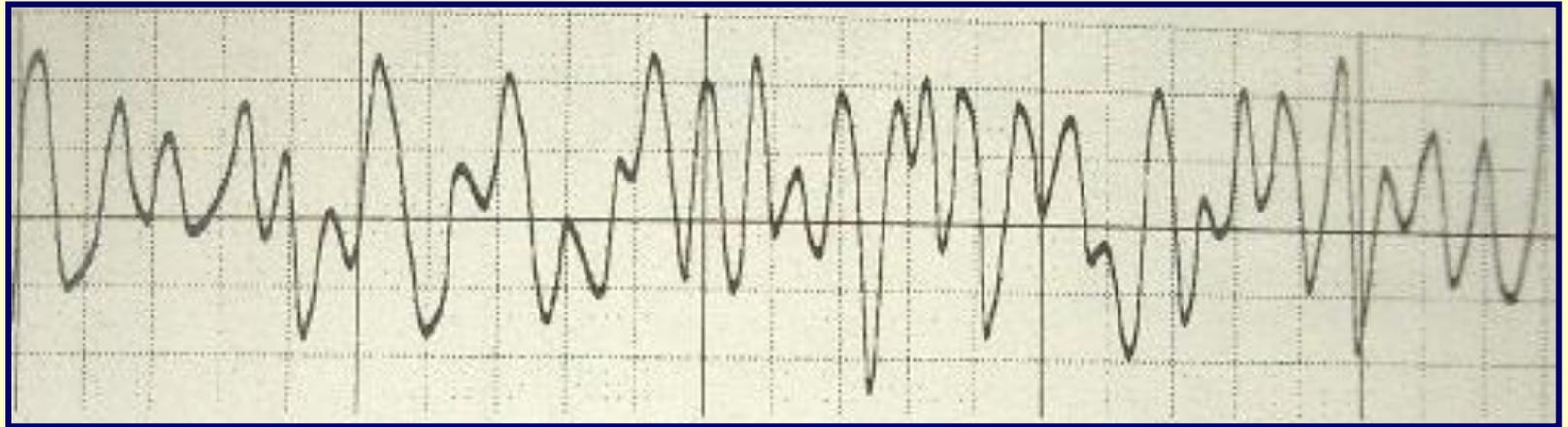


# 離床の開始基準

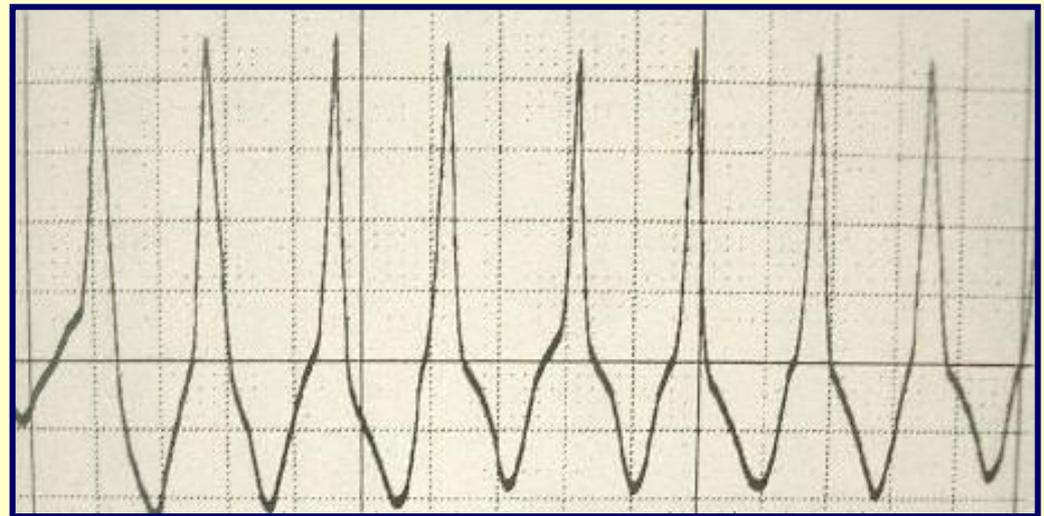
離床を行わないほうが良い場合

- ・強い倦怠感を伴う38.0度以上の発熱
- ・安静時の心拍数が50回/分以下 または 120回/分以上
- ・安静時の収縮期血圧が80mmHg以下 (心原性ショックの状態)
- ・安静時の収縮期血圧が200mmHg以上  
または 拡張期血圧120mmHg以上
- ・安静時より危険な不整脈が出現している  
(Lown分類4B以上の心室性期外収縮, ショートラン, RonT  
モービッツII型ブロック, 完全房室ブロック)
- ・安静時より異常呼吸が見られる  
(異常呼吸パターンを伴う10回/分以下の徐呼吸  
CO<sub>2</sub>ナルコーシスを伴う40回/分以上の頻呼吸)
- ・P/F比 (PaO<sub>2</sub>/FiO<sub>2</sub>) が200以下の重症呼吸不全
- ・安静時の疼痛がVAS7以上
- ・麻痺等神経症状の進行が見られる
- ・意識障害の進行が見られる

# 心室細動

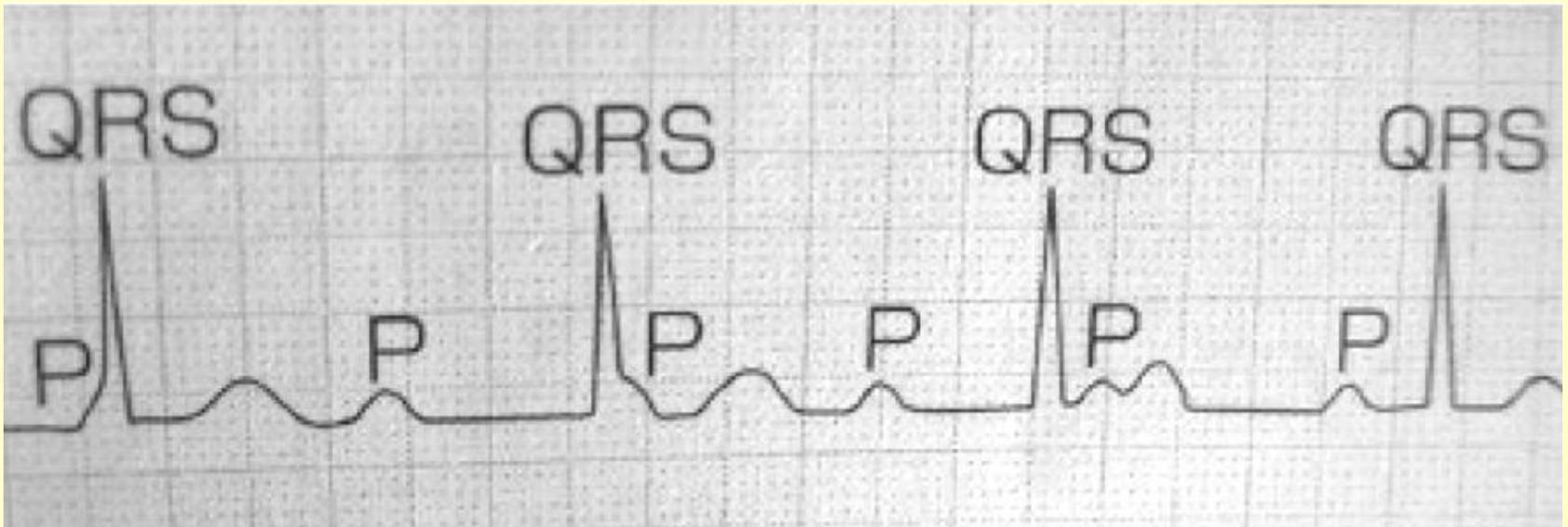


# 心室頻拍

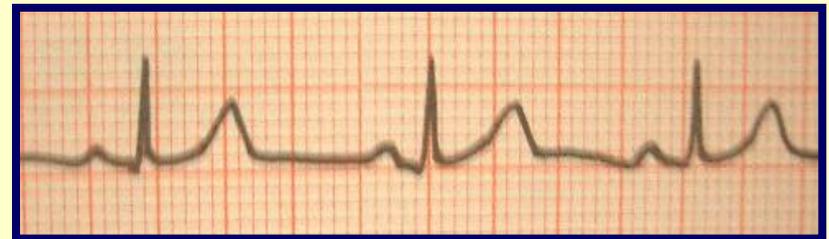


→ 応援を呼ぶ、心臓マッサージ、救急カート

# 完全房室ブロック



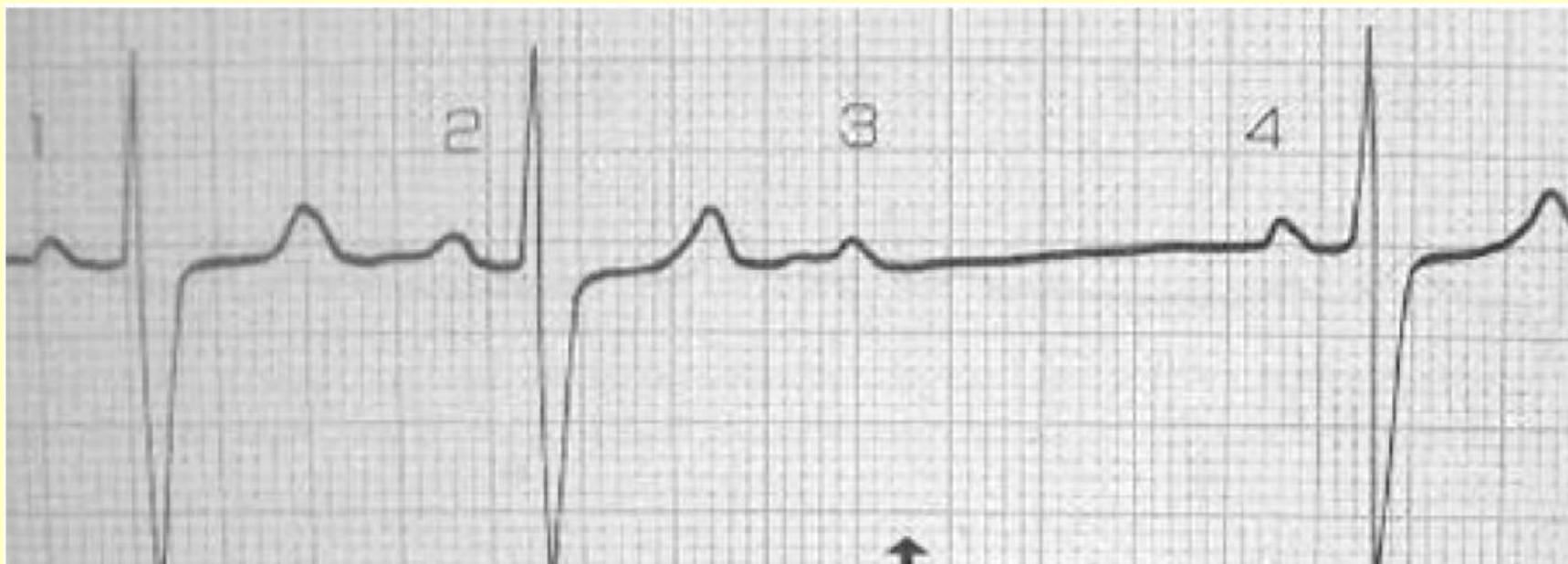
正常波形→



# モービッツII型 ブロック

p.

82

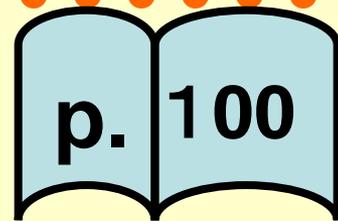


# CO<sub>2</sub>ナルコーシス

二酸化炭素中毒症候群の重症型

- ★ 高度の呼吸性アシドーシス
- ★ 意識障害
- ★ 自発呼吸の減弱

# 検査項目の理解

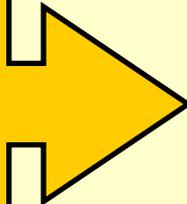


## P / F比という考え方

$$P = PaO_2$$

$$F = FiO_2$$

$$(100\% = FiO_2 1.0)$$



$$\frac{PaO_2}{FiO_2}$$

300以下は呼吸障害

200以下はさらに重篤な呼吸障害